

～官から民へ～

「官製市場の民間開放」

規制改革・民間開放推進会議の
主要検討課題について

2004年5月19日

規制改革・民間開放推進会議 議長 宮内義彦

規制改革・民間開放推進会議について

- 規制改革は、約10年来の取り組みにより、**経済的規制を中心に大きく進展**。
- 前身の総合規制改革会議では、行政の関与が強い医療、福祉、教育、農業、労働などの社会的分野や官業そのものの改革 = **官製市場の民間開放**」に着手。

緒についた官製市場改革を本格的に推進するため、新たな推進組織として **規制改革・民間開放推進会議**」が設置された。
今後設置される **推進本部**」との連携による**政治のリーダーシップ**にも期待。

今年度の主要検討課題

「官製市場の民間開放」に集中的・重点的に取り組み、
本年7月に「中間とりまとめ」

医療、福祉、教育等の主要官製市場の改革

アクションプラン17事項などを踏まえ、重点事項を選定し、集中的に審議

< 検討事例 >

1. 混合診療の解禁
2. 医療法人経営のあり方 (医療法人への出資・議決権問題など)
3. 各種学校間の競争条件同一化 (私学助成など)
4. 施設介護と在宅介護の制度一元化 など

官業の民間開放の推進

個別官業 (公共施設・サービス)の民間開放の推進

具体的な行政サービスの民間移管 (民営化・民間譲渡・民間委託)や
公物管理見直し・行政財産の利活用促進など

官業の民間開放を促進するための「横断的手法」の構築

規制改革・民間開放推進3か年計画」に盛り込まれた「市場化テスト」
や「数値目標」などの制度設計

「市場化テスト(官民競争入札制度)」とは、

- 「官から民への事業移管」を加速化するため、官の担っている事業を民と競争させ (官民競争入札) 効率性の比較を通じて官業の範囲を最小化。
- 多くの先進諸外国 (米、英、豪、蘭、デンマーク、スウェーデンなど)で既に導入済み。

市場化テスト」の早期・段階的導入 (案)

規制改革・民間開放推進3か年計画の前倒し。

- 本年度 :ガイドラインの策定、官民間の競争条件の監視機能、各府省のモデル事業選定 など。
- 来年度 :上記モデル事業への試行的導入。
- 再来年度 :全面的に制度導入。

まずは、国が率先垂範し、地方自治体の事業については、制度的障害要因の改革など、環境整備を図る。

市場化テスト(官民競争入札制度)の実施プロセス(イメージ)

具体的な制度設計の内容は今後検討

